

まえがき

この教科書をご使用になるみなさんへ

本書は初級文法を終えた方々を想定した教科書です。ひととおり文法を学んでも、なかなかフランス語が読めるようにならない。これは教える側も学ぶ側も共通に感じる悩みではないでしょうか。初歩を学んだ後に、どのように中級や上級に進めばよいのか。もちろん王道はありませんが、やはり重要点を確認しつつ、実践を積む以外の方法はない気がします。

この教科書では、書き言葉の文章を読むことで、話し言葉の会話とは違うフランス語の構造に慣れるとともに、発音や文法を再確認することを目指しており、各課は4ページから構成されています。

最初のページは読解のパートで、リード文、文章と注、コラムからなっています。基本的には、辞書を引いて、自力である程度のレベルの文章が読めるようになるための訓練です。ですから、注の部分は、難解箇所訳を提示するのではなく、辞書を引くときのヒントや、構文を読み取るためのポイントに留めました。文章は、フランス文化のなかで学習者の興味を惹きそうなテーマを多角的に選んだうえで、本書のために書き下ろしたものです。本文の内容を補足するコラムを付けてありますから、その部分を読めば、内容理解の助けになるはずです。まずは、リード文に記されている記述がほんとう (vrai) か、うそ (faux) かを予想し、チェックすることから始めましょう。フランス文化に関する新たな発見があることと思います。

2 ページ目は聞き取りに係わるパートです。単なる和訳にとどまらず、内容の理解をフランス語で確認するために Questions のコーナーを設けました。できれば、文字を読まずに耳で質問を聞きたいところですが、それではハードルが高くなりすぎますから、質問文も記してあります。慣れてきたら、聞き取りだけで挑戦してみてください。フランス語の発音は規則的とはいえ、ひととおり規則を習っても、なかなか流れるようには読めないのも中級者の悩みの一つです。発音の練習が初年度の最初に集中してしまうのも理由の一つかもしれません。そこで、Prononciation のコーナーで、発音を基礎から見直すことにしました。規則を確認した後、「発音チェック」で何度も繰り返し発音することで、次第に読み方が定着すればよいと思います。語彙も広がるように、自分で意味を調べてから取り組んでください。単語はできるだけ反復しないようにしました。

3 ページ目と4 ページ目は文法の見直しです。すでに初級文法を学んだことを前提としており、要点の確認の形で説明してあります。説明のページはあくまで参考として、すぐに Exercices をおこなってもよいですし、教員がいてねいに解説してから、練習問題に取り組んでもよいと思います。最後に総合的な練習問題 Écoutez et répondez をつけました。内容は緩やかな形で文法項目に対応しています。全体のレベルは言語に関する欧州共通基準 (CECRL) の A1 から A2 にアップすることを想定しています。

7 課ごとにまとめのページ Bilan がありますが、これは飛ばしても構いませんし、小テストとして使ってもよいでしょう。

フランス語を専門とする学習者ならば、1 コマで1 課のペースで進めることも可能でしょうし、じっくりと勉強するなら、2 コマで1 課のペースで通年というあり方もできるでしょう。

いずれにせよ、臨機応変に使っていただき、初級の世界から離陸し、翼を広げてフランス語を読むことが楽しくなっていただけならば、著者としてそれに優る喜びはありません。

2016 年夏

著者一同

Tableau des matières

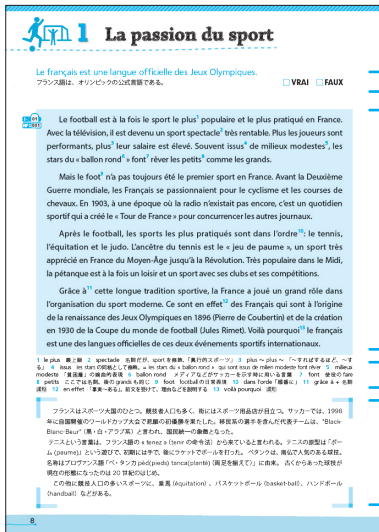
P Prononciation **G** Grammaire

1	La passion du sport	8
	P a, i, an, in	
	G 直説法複合過去と半過去 (passé composé, imparfait)	
2	La lutte contre le gaspillage	12
	P ou, u, g, j	
	G 人称代名詞、強勢形 (pronoms personnels, pronoms toniques)	
3	Simple comme bonjour	16
	P e, é, ê, è	
	G 代名動詞 (verbes pronominaux)	
4	Pour ou contre les devoirs	20
	P o, eu, on, un	
	G 中性代名詞 (pronoms neutres)	
5	Les bonnes manières à table	24
	P au, ai, ei, ain, ein	
	G 關係代名詞 (pronoms relatifs)	
6	Vivement les vacances !	28
	P c, ç, ch, q	
	G 直説法單純未來、命令法 (futur simple, impératif)	
7	Les petits noms amoureux	32
	P h, th, ph, gn	
	G 大過去、條件法 (plus-que-parfait, conditionnel)	
	BILAN N°1	36

8	La philosophie pour tous	38
	Ⓟ oi, oin, ien, b / v	
	Ⓒ 疑問詞 (interrogatifs)	
9	Les nouvelles familles	42
	Ⓟ 語末の子音①	
	Ⓒ 現在分詞、ジェロンディフ (participe présent, gérondif)	
10	La politique environnementale	46
	Ⓟ 語末の子音②	
	Ⓒ 接続法 (subjunctif)	
11	Le bricolage	50
	Ⓟ 半母音① 例外	
	Ⓒ 比較級、最上級、形容詞 (comparatif, superlatif, adjectif)	
12	La folie des soldes	54
	Ⓟ 半母音②	
	Ⓒ 直接話法、間接話法 (style direct, style indirect)	
13	Le droit de grève	58
	Ⓟ r, s, x	
	Ⓒ 過去分詞 (participe passé)	
14	Il était une fois le cinéma	62
	Ⓟ トレマ、例外的な発音、リエゾン	
	Ⓒ 単純過去、前過去、知覚動詞 (passé simple, passé antérieur, verbe de perception)	
	BILAN N°2	66
	動詞活用表	70

本書の使い方

1 ページ目



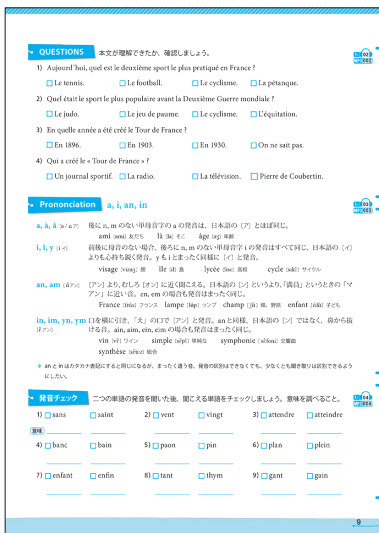
● **VRAI FAUX** : その課のトピックについて、まずは「ほんとう (vrai)」か「うそ (faux)」か予想してみましょう。

● **エッセイ** : フランス文化についての書き下ろしのエッセイです。まずは、テキストをノートに全文写しましょう。辞書を引いてわからない単語を調べるだけでなく、自分なりに訳文を作ってから授業に臨みましょう。辞書を引くためのヒントは「注」を参照してください。

● **注** : 辞書を引くときのヒントや、構文を読み取るためのポイントです。辞書に載っていない新しい表現などもあります。成句とあるのは、イディオム的な表現ですから、辞書の成句表現の部分を確認してください。

● **コラム** : エッセイの内容を補足するコラムです。先にここを読むと、テキストの内容はおおよそ想像がつくはずです。

2 ページ目



● **Questions** : エッセイに関する内容理解の問題です。音声も収録してあるので、慣れてきたら、問いの部分の文字を見ずに聞き取りをしてみましょう。

● **Prononciation** : 発音の復習です。規則を再確認しながら、中級者らしい発音を目指しましょう。

● **発音チェック** : Prononciation で学習したことの練習です。間違えやすい二つの単語を聞き分けます。聞きとるだけではなく、何度も自分で声に出して練習しましょう。自分で意味を調べることで、語彙力の定着に心がけましょう。辞書に載っていない可能性のある人名や地名はすでに記してあります。



3

Simple comme bonjour

Pour saluer, les Français se font toujours la bise.

フランス人は挨拶のとき、かならず相手の頬にキスする。

☐ VRAI ☐ FAUX

1-11
MP3 011

En France, saluer n'est vraiment pas « simple comme bonjour¹ ». En effet, il existe de nombreuses manières² de saluer. Faut-il serrer la main ou suffit-il de lever la main droite ? Faut-il faire la bise³ ? Mais combien de bises ? C'est parfois déconcertant pour un étranger. Et puis, il y a aussi le baise-main, ce geste de courtoisie et d'admiration d'un homme envers une dame mariée. Mais le baise-main, rare de nos jours⁴, est réservé à la haute société.

En fait, tout dépend du contexte⁵ : de l'âge et du statut social ou professionnel de la personne à saluer⁶. Dans le cadre professionnel, on se serre généralement la main. Celui qui tend la main le premier est le supérieur. Par ailleurs, c'est toujours la femme qui tend la main à l'homme, et la personne la plus âgée à la plus jeune⁷. Cependant, les collègues qui se connaissent bien se font la bise. Mais on ne fait jamais la bise à son patron, sauf s'il le propose.

La bise est donc réservée au cadre familial ou amical. Dans certaines familles, les enfants et les parents se font la bise le matin et le soir. De même⁸, on s'embrasse sur la joue lorsqu'on retrouve des membres de la famille élargie (oncles, tantes, cousins, grands-parents etc.). Chez les jeunes, la bise est courante, même lors d'une première rencontre. Quant au⁹ nombre de bises, il dépend de la région. Alors, comment s'y prendre¹⁰ ? Il suffit de suivre le conseil de ce célèbre proverbe : « À Rome, fais comme les Romains. »

1 c'est simple comme bonjour 話し言葉で「とても簡単」「当たり前」を表す 2 de nombreuses manières de nombreux(ses) + 名詞「たくさんの」 3 bise 「頬へのキス」 4 de nos jours (感句) 5 dépend du contexte dépendre de + 名詞「～に依る」 6 la personne à saluer 名詞 + à + 動詞の不定詞「～すべきもの・人」 7 et la personne la plus âgée à la plus jeune 前の文と同じなので tend la main が省略されている 8 de même 「同様に」 9 Quant au quant à 「～に関しては」。quand と似ているので注意 10 s'y prendre 「ふるまう」

フランスでの挨拶の仕方は様々だが、基本形は握手。親しい間柄では bise (頬へのキス) もよくする。若者たちは、初対面でも bise をする傾向がある。何回 bise を行うかは地方差があり、パリではふつう 2 回、地方では 3 回や 4 回のところも。bise をしたくない場合は、風邪をひいていますと言ったり、先に手を出して握手を求めたりするという手もある。

フランス語には日本語ほど複雑な敬語体系はないが、ただ Bonjour というより、Bonjour, Madame や Bonjour, Philippe のほうがいていない表現になる。Salut は会ったときも別れるときも使える便利な表現だが、目上の人や、知らない人には使えないことは覚えておきたい。

QUESTIONS

本文が理解できたか、確認しましょう。

1-12
MP3 012

- Que signifie l'expression : « simple comme bonjour » ?
☐ Très facile. ☐ Très compliqué. ☐ Familial. ☐ Poli.
- Comment faut-il saluer une personne qu'on rencontre pour la première fois ?
☐ Lever la main droite. ☐ Donner la main. ☐ Faire une bise. ☐ Faire deux bises.
- Qui doit tendre la main le premier ? La personne la plus...
☐ âgée. ☐ jeune. ☐ polie. ☐ amicale.
- En règle générale, à qui peut-on faire la bise ?
☐ À ses professeurs. ☐ À son patron. ☐ Aux étrangers. ☐ Aux membres de sa famille.

Prononciation e, é, ê, è

1-13
MP3 013

e には、四通りの読み方がある。ただし、鋭い [ɛ e] と広い [ɛ̃ e] のちがいが、軽い [œ œ] と無音のちがいはそれほど神経質になる必要はない。[ɛ] の音と [œ] の音を読み間違えないことが大切。

- é** [e 鋭いエ] ②と比べると短めに感じられる。最後の音節が er で終わる場合もこの発音。
 bébé [bebe] 赤ん坊 été [ete] 夏 liberté [liberte] 自由 penser [pāse] 考える
- è, ê** [ɛ 広めのエ] ①と比べると長めに感じられる。e の後ろに子音が2つ続く場合 (escargot [eskargo]), 子音字は1つだが最後の音節の場合 (ballet [balɛ]) もこの発音。
 mère [mɛr] 母 être [ɛtr] 存在 crêpe [krep] クレープ gourmet [gurmɛ] 美食家
 Michel [miʃɛl] ミシェル (人名)
- e** [œ 軽いウ] e の後ろに子音字が1つだけ続く単語中の e は軽い [œ]。最後の音節の場合は②の [ɛ]。
 cela [səla] (それ) petit [pəti] 小さい menu [mɔ̃ny] メニュー regarder [ragarde] 見る
- 無音** 後ろに子音が続かない語末の e は発音しない。後ろの子音が s の場合も無音。例外は des, les。
 je chante [ʒ(ə)ʃā̃t] 私は歌う tu chantes [tyʃā̃t] 君は歌う Charles [ʃarl] シャルル (人名)

* mademoiselle で確認すると、最初の de は後ろに m という子音が1つなので、軽いウで [ドゥ]、se は後ろに l と子音が2つ続くから広めのエで [ゼ]、最後の le は後ろに子音がない語末の e で無音 [ル]。

発音チェック

二つの単語の発音を聞いた後、聞こえる単語をチェックしましょう。意味を調べること。

1-14
MP3 014

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1) ☐ même | ☐ mémé | 2) ☐ mener | ☐ mène | 3) ☐ fêter | ☐ fête |
| 意味 _____ | | | | | |
| 4) ☐ de | ☐ des | 5) ☐ Répète ! | ☐ Répétez ! | 6) ☐ appel | ☐ appeler |
| _____ | | | | | |
| 7) ☐ ferme | ☐ fermer | 8) ☐ pense | ☐ pensée | 9) ☐ je chante | ☐ je chantais |
| _____ | | | | | |

代名動詞 (verbes pronominaux)

用法

代名動詞の用法は意味の点から四つに分けられる。

- | | | | |
|-----------|----------|---------------------|---------------------|
| (1) 再帰的用法 | 自分自身を～する | se coucher (寝る) | s'habiller (服を着る) |
| (2) 相互的用法 | お互いに～する | se parler (話し合う) | se voir (見合う) |
| (3) 受身的用法 | ～される | se retrouver (見つかる) | s'ouvrir (開く) |
| (4) 本来的用法 | 上記以外 | se rappeler (思い出す) | s'en aller (行ってしまう) |

(1) 再帰的用法

coucher は「寝かせる」という意味。再帰的用法では、動作が自分にはねかえり、「自分自身を寝かせる」、つまり「寝る」となる。

Je **me couche** à dix heures. 私は 10 時に寝ます。

Il **se lave** les mains. 彼は手を洗う。

(2) 相互的用法

相互的用法は、主語は必ず複数で用い、se は直接目的の場合も間接目的の場合もある。

Nous **nous saluons**. 私たちは挨拶を交わす。[直接目的]

Ils **se serrent** la main. 彼らは握手する。[間接目的]

(3) 受身的用法

受身的用法では、主語はふつう無生物。

Ce livre **se vend** très bien. この本はとてもよく売れる。

La fenêtre **s'est refermée** toute seule. 窓がひとりでに閉まった。

Où **se trouve** la mairie? 市役所はどこにありますか?

* trouver は「見つける」 se trouver は「～がある」という意味でよく用いられる。

(4) 本来的用法

代名動詞としてのみ使うもの、se を行為の目的語と見なしにくいもの。

Vous **vous souvenez** de Jacques? あなたはジャックのことを覚えていますか?

Je **m'aperçois** que j'ai oublié ma montre. 私は時計を忘れたことに気づく。

複合過去の作り方

助動詞は être、再帰代名詞 (se) が間接目的補語の場合を除き、過去分詞は主語と性・数を一致させる。

Ils se **sont endormis** facilement. 彼らはすぐに眠りについた。

Nous **nous sommes parlé**. 私たちは語りあった。 nous は間接目的なので一致しない。

On が「私たち」を意味する場合は、性・数一致。

On **s'est rencontrés** l'automne dernier. 私たちは昨秋に出会った。

Exercices

1 [] 内の動詞を現在形に活用させ、全文を訳しましょう。

1. Tous les jours, je () à 7 heures et je () vers 10 heures. [se lever]
[se coucher]
2. Ils () tous les week-ends. [se téléphoner]
3. Cette porte () automatiquement. [se fermer]
4. On () tout à l'heure à la réunion. [se voir]
5. On () rendez-vous devant le cinéma. [se donner]
6. Tu () de Michel, le petit ami de Julia ? [se souvenir]

2 [] 内の動詞を複合過去に活用させ、全文を訳しましょう。

1. Comment ça () ton examen? [se passer]
2. Je () très tôt ce matin. [se lever]
3. Nous () en juillet dernier. [se marier]
4. Tu () les mains ? [se laver]

Écoutez et répondez



1. Vous vous appelez comment ?
 - 1) J'appelle un taxi.
 - 2) J'appelle mon ami.
 - 3) Je m'appelle Julien.
2. En général, à quelle heure vous levez-vous ?
 - 1) Il est 9 heures.
 - 2) Je me lève vers 7 heures.
 - 3) Je prends mon petit déjeuner à 8 heures.
3. Qu'est-ce qui s'est passé ?
 - 1) Il y a eu un accident de voiture.
 - 2) J'ai passé mes vacances à la mer.
 - 3) Passez-moi le sel, s'il vous plaît.



挨拶の基本は握手！ しっかりと握り返そう